

令和4年度事業報告

1 概要

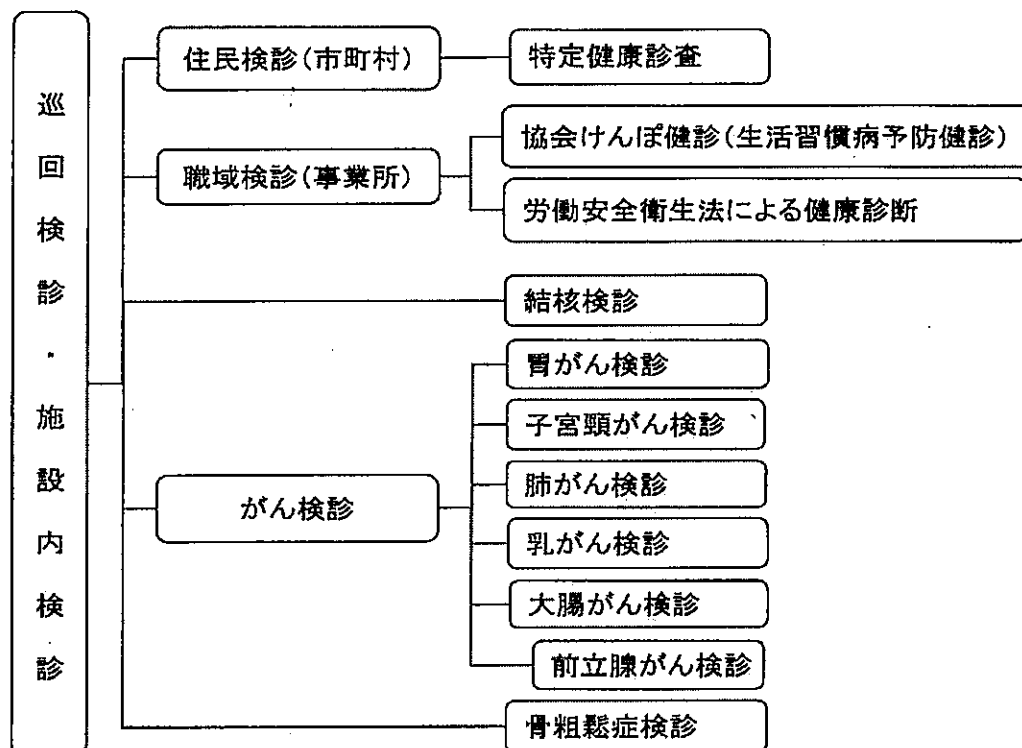
新型コロナウイルスは、2020年1月に国内で初の感染者が確認された後、3年の間に8回の感染流行の波が起き、繰り返し発令された緊急事態宣言の影響などにより、検診事業の実施に当たって大きな痛手を受けてきた。

こうした中、感染防止対策を徹底するため、厚生労働省、関連学会等の見解を踏まえ、検診実施機関として適切な感染症対策を行い、受診環境の確保に努めてきてはいるが、未だ「受診控え」の傾向が見受けられ、コロナ渦前の受診者数には遠く及ばない状況にある。

他方、検診事業外では、昨年の8月、新型コロナウイルス感染患者の急増に伴い、県では、「大分県検査キット配送・陽性者登録センター」を設置し、その業務の委託を受けて、抗原キット配送業務及び陽性者登録業務を実施した。(実施期間は4年8月～5年5月7日)

以下、令和4年度の検診事業、決算等について報告する。

【検診全体の体系図】



2 検診事業

(1) 検診の実施状況

令和4年度の住民検診、職域検診における受診者総数は、160,375人となり、前年度と比較して5,291人の減(3.2%の減)となった。

その主な要因としては、1施設の結核検診における競争入札で不採択により減少したものである(4,894人減)。

なお、クリニックにおける健康診断については、ほぼ前年並みの結果となった。

表Ⅰ 検診受診者数

(単位：人)

検診項目	4年度(A)	3年度(B)	増減 (A)-(B)
特定健康診査(住民)	15,229	14,816	413
生活習慣病健診(職域)	14,926	14,913	13
結核検診	52,736	57,705	△ 4,969
骨粗鬆症検診	2,550	2,977	△ 427
胃がん検診	10,807	10,901	△ 94
子宮頸がん検診	15,706	15,645	61
肺がん検診	19,079	18,912	167
乳がん検診	11,821	12,296	△ 475
大腸がん検診	17,521	17,501	20
合 計	160,375	165,666	△ 5,291

(2) 特定健康診査、生活習慣病予防健診受診者への特定保健指導

特定健康診査(市町村国保加入者を対象)や生活習慣病予防健診(各健保組合被保険者・被扶養者を対象)の検診結果から生活習慣病の発症リスクが高い方(メタボリックシンドローム)に対して、保健師や管理栄養士等が対象者の状況に合わせた生活習慣を見直すためのサポートを行った。

表Ⅱ 特定保健指導実施数

(単位：人)

特定保健指導	4年度(A)	3年度(B)	増減(A)-(B)
動機付け支援	108	121	△ 13
積極的支援	58	44	14
合 計	166	165	1

(3) 精度管理の充実

検診で要精密検査となった受診者の結果を把握することは、がん検診の精度管理上、重要である。令和3年度に「要精密検査」の判定を受け、精密検査を受診した方ががん発見数については、次のとおりである。

なお、検診から結果把握まで期間を要することから、4年度の実績報告は1年遅れとなる。

表Ⅲ 精検結果状況（令和3年度）

検診項目	検診受診者数 (人)	要精検者数 (人)	精検受診者数 (人)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	全国平均 (%)
胃がん	10,901	1,217	1,095	17	0.16	0.09
子宮頸がん	15,645	299	254	2	0.01	0.01
肺がん	18,912	606	544	20	0.11	0.04
乳がん	12,296	969	910	40	0.33	0.26
大腸がん	17,501	1,180	949	40	0.23	0.16
合 計	75,255	4,271	3,752	119	0.17	0.11

(注) 1 がん発見率＝がん発見数÷検診受診者数

(注) 2 全国平均は、日本対がん協会各県支部の平均

(4)施設・機器等の整備

老朽化に伴う施設設備の更新及び医療機器の整備を次のとおり行なった。

表Ⅳ 機器等の整備状況

項 目	整備の内容	整備費用 (単位：千円)	資金の調達
資格確認用端末一式	新 規	4 2 9	自己資金
車庫棟控室エアコン交換	更 新	4 5 7	自己資金
眼底カメラ2台	更 新	3, 5 2 0	自己資金
心電計	更 新	6 2 7	自己資金
卓上遠心器	更 新	4 5 1	自己資金
乳房用X線診断装置	更 新	1 4, 9 1 0	リース

検診予約システム	新規	7, 3 0 2	リース
検診ソフトウェア	新規	4, 5 6 5	自己資金
	合計	3 2, 2 6 1	

3 普及啓発事業

普及啓発事業については、結核予防会及び日本対がん協会の支部として結核予防週間、がん征圧月間に併せた広報宣伝活動を行うとともに、結核やがんに対する知識の啓発と予防意識の高揚を図り、活動資金を得るための募金活動を併せて実施した。

(1) 結核予防会大分県支部としての活動

①複十字シール募金運動：期間 8 / 1 ~ 1 2 / 3 1

8月1日からの複十字シール募金運動の開始にあたって、全国一斉複十字運動キャンペーンの一環として、7月26日に大分県知事を結核予防婦人会役員と表敬訪問し、本運動の協力をお願いした。

また、結核予防婦人会員、県等と協力して募金運動に取り組んだ結果、県、市町村、婦人会等から2, 0 9 6, 1 7 2 円の募金が寄せられた。

②結核予防週間街頭キャンペーン・・・中止

(2) 日本対がん協会大分県支部としての活動

①がん征圧月間 9 / 1 ~ 3 0

がん予防に関するポスター、パンフレット、リーフレットを県、市町村、医療機関等に配布するとともにがん征圧月間に併せて新聞広告を掲載した。

②がん征圧運動

がん征圧運動事業推進のため、県、医師会、事業所等へ会員募集の協力を求めた結果、9 7 4, 0 0 0 円の募金が寄せられた。

③リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2 0 2 2 大分

日時 令和4年10月9日

場所 大分スポーツ公園大芝生広場

主催者である日本対がん協会、大会実行委員会を事務局として支援した。

(3) 令和3年度各種検診・検査実績の公開

令和3年度の各種検診・検査事業実績等を後述の各種委員会において報告し、ホームページ上に情報を公開する。

4 研究・研修事業

各種がん検診の円滑な推進やがん患者の早期発見、精度管理の充実、向上を図るため、各種委員会を開催するとともに、検診に従事する職員の専門知識の修得及びセンター内外での研修等に努めた。

(1) 各種委員会の開催

① 細胞診判定委員会

日 時 令和5年2月13日(月) 17時30分～
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員8名のうち5名
議 題 ・尿細胞診検査の状況
・肺がん検診(喀痰細胞診)の状況
・子宮頸がん検診の状況報告 等

② 消化器がん検診委員会

日 時 令和5年2月20日(月) 18時30分～
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員13名のうち9名
議 題 ・胃がん検診の状況
・大腸がん検診の状況

③ 結核・肺がん検診委員会

日 時 令和5年2月28日(火) 18時30分
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員11名のうち8名
議 題 ・結核・肺がん検診(胸部X線)の状況
・肺がん検診(喀痰細胞診)の状況 等

④ 乳がん検診読影委員会

日 時 令和5年3月6日(月) 19時
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員12名のうち6名
議 題 ・乳がん検診の状況
・発見乳がんの症例検討 等

(2) 「令和3年度事業年報」

前述の「3 普及啓発事業」の(3)で掲載

(3) 講習会・研修会等の開催事業

① 検診スタッフ研修会

日 時 令和4年4月4日(金) 11時

場 所 大分県医師会館

参加者 職員、パート職員 81名

② 九州地区結核予防婦人団体幹部講習会

日 時 令和4年11月25日(金)

場 所 ホテル&リゾート別府湾

参加者 九州地区結核予防婦人団体幹部役員等 433人

③ 防災研修(大分県医師会と共催:ビデオ講習)

日 時 令和4年12月26日(月) 10時

場 所 大分県医師会館

参加者 職員 36名

④ がん精密検診協力医療機関研修会(大分県医師会と共催)

日 時 令和5年1月29日(日) 9時

場 所 大分県医師会館

参加者 医師等 194名

⑤ 人権啓発等研修会

日 時 令和5年3月3日(金)

場 所 大分県医師会館

参加者 医師等 30名

⑥ 防災訓練(実地研修)

日 時 令和5年3月28日(火) 15時

場 所 大分県医師会館

参加者 職員 38名

(4) 学会及び研修会等の参加

・結核予防会・日本対がん協会関係

月	日	名 称	備考
7	11	日本対がん協会全国事務局長会議	WEB
9	2	がん征圧全国大会	WEB
1	21~22	結核予防会・日本対がん協会 マンモグラフィ技術講習会	東京都
2	14	結核予防会全国大会	熊本市
2	17	結核予防会・日本対がん協会九州・沖縄県支部ブロック会議	WEB
3	22~24	結核予防会・日本対がん協会 診療放射線技師講習会	WEB

・学会関係

月	日	名 称	備考
6	11～12	日本臨床細胞学会総会	東京都
8	2 2	日本臨床細胞学会細胞検査士教育セミナー	WEB
9	4	胃がんX線検診技術部門資格試験	WEB
9	1 0	日本消化器がん検診学会九州地方会	WEB
1 1	5～6	日本臨床細胞学会秋季大会	WEB
2	1 8	大分県臨床細胞学会学術集会	大分市

・外部精度管理事業

月	日	名 称
8	2 5	日本臨床検査技師会臨床検査精度管理調査
7	1	大分県医師会臨床検査精度管理調査
1 1	8	日本臨床細胞学会施設認定コントロールサーベイ

5 その他

(1) 理事会・評議員会の開催

①令和4年度第1回理事会

日 時：令和4年6月8日(水)午後3時30分

場 所：大分県医師会6階研修室I

出席者：理事13名のうち9名、監事1名

議 事

(審議事項)

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算について

第2号議案 令和4年度定時評議員会の日時、場所及び目的である
事項について

第3号議案 理事の辞任に伴う補欠理事候補者の推薦について

選出区分	理事候補者(新任)	退任者
大分県医師会長	河 野 幸 治	近 藤 稔

第4号議案 評議員の辞任に伴う補欠評議員候補者の推薦について

選出区分	評議員候補者(新任)	退任者
大分県医師会副会長	内 田 一 郎	河 野 幸 治

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

②令和4年度定時評議員会（定款第22条に基づく決議の省略による同意）

1 評議員会の決議があったものとするみなされた事項の内容

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事の辞任に伴う後任理事の選任について

選出区分	後任者(新任理事)	辞任者
大分県医師会長	河野幸治	近藤 稔

第3号議案 理事の辞任に伴う後任理事の選任について

選出区分	評議員候補者(新任)	退任者
大分県医師会副会長	内田 一郎	河野幸治

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 令和4年度事業計画及び収支予算について

2 評議員会の決議があったものとみなされた日

令和4年6月27日

③令和4年度第2回理事会(定款第37条に基づく決議の省略による同意)

1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

(1) 河野 幸治理事を理事長とし、代表理事に選定する。

2 理事会の決議があったものとみなされた日

令和4年6月27日

④令和4年度第3回理事会

日 時: 令和5年3月29日(水)午後3時55分

場 所: 大分県医師会6階研修室I

出席者: 理事13名のうち8名、監事1名

議 事

(審議事項)

第1号議案 令和4年度収支補正予算案について

第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算案について

(報告事項)

第1号報告 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

(2) 福利厚生

当センターは経営の許容する範囲内において、職員に対して次の福利厚生を行った。

- ①当センターで行う定期健康診断の助成 ②職員駐車場の使用料助成
③慶弔見舞 ④被服貸与

6 資料

- (1) 令和4年度・5年度役員(理事・監事)・評議員名簿……………(別紙)
- (2) 組織機構図……………(別紙)
- (3) 市町村健康診査受託状況……………(別紙)
- (4) 令和4年度検診受診者数の内訳……………(別紙)
- (5) 特定保健指導の支援形態……………(別紙)

6 資 料（別紙）

令和4年度公益財団法人大分県地域保健支援センター役員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
理 事 長	近藤 稔	大分県医師会長
	河野 幸治	6/24～
専務理事	清末 敬一郎	大分県地域保健支援センター事務局長
理 事	永松 悟	大分県市長会代表
理 事	藤本 昭夫	大分県町村会長
理 事	貞永 明美	大分県産婦人科医会副会長
理 事	矢野 篤次郎	国立病院機構別府医療センター院長
理 事	堀内 孝彦	九州大学病院別府病院長
理 事	三股 浩光	大分大学医学部附属病院長
理 事	福澤 謙吾	大分赤十字病院長
理 事	安部 志津子	大分県結核予防婦人会長
理 事	坂本 博介	大分市保健所長
理 事	中川 道子	大分県福祉保健部健康づくり支援課長
理 事	後藤 朗	大分県地域保健支援センター診療所長
監 事	此本 浩毅	此本会計事務所長
監 事	廣瀬 高博	日本赤十字社大分県支部事務局長

令和4年度公益財団法人大分県地域保健支援センター評議員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
評議員	河野 幸治	大分県医師会副会長
	内田 一郎	6/24～
評議員	藤本 洋士	大分県歯科医師会副会長
評議員	後藤 一也	国立病院機構西別府病院長
評議員	佐藤 昌司	自治体病院協議会大分県支部長
評議員	大戸 朋子	大分県看護協会会長
評議員	市川 泰朗	大分県理学療法士協会会長
評議員	安部 澄子	大分県栄養士会顧問

令和5年度公益財団法人大分県地域保健支援センター役員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
理 事 長	河野 幸治	大分県医師会長
専務理事	清末 敬一朗	大分県地域保健支援センター事務局長
理 事	永松 悟	大分県市長会代表
理 事	藤本 昭夫	(大分県町村会長)
理 事	貞永 明美	大分県産婦人科医会副会長
理 事	矢野 篤次郎	国立病院機構別府医療センター院長
理 事	堀内 孝彦	(九州大学病院別府病院長)
理 事	三股 浩光	大分大学医学部附属病院長
理 事	福澤 謙吾	大分赤十字病院長
理 事	安部 志津子	大分県結核予防婦人会長
理 事	坂本 博介	大分市保健所長
理 事	中川 道子	(大分県福祉保健部健康づくり支援課長) ※5月15日付
理 事	後藤 朗	大分県地域保健支援センター診療所長
監 事	此本 浩毅	此本会計事務所長
監 事	廣瀬 高博	日本赤十字社大分県支部事務局長

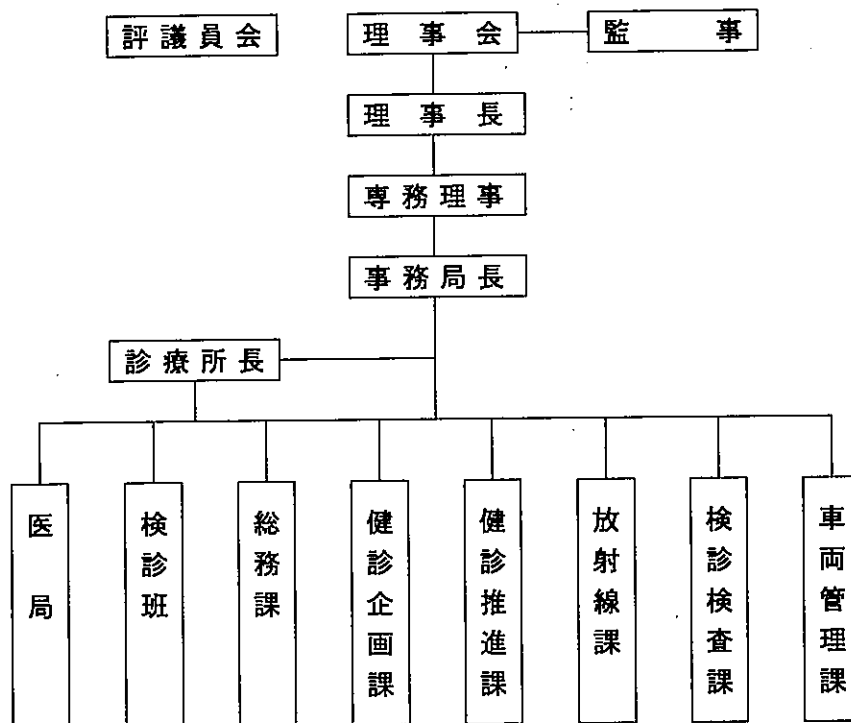
※ 選出区分欄の所属を()で記している理事は、4月1日現在、その職を退任されています。

令和5年度公益財団法人大分県地域保健支援センター評議員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
評議員	内田 一郎	大分県医師会副会長
評議員	藤本 洋士	大分県歯科医師会副会長
評議員	後藤 一也	国立病院機構西別府病院長
評議員	佐藤 昌司	自治体病院協議会大分県支部長
評議員	大戸 朋子	大分県看護協会会長
評議員	市川 泰朗	大分県理学療法士協会会長
評議員	安部 澄子	大分県栄養士会名誉会長

公益財団法人大分県地域保健支援センター組織機構図

令和4年4月1日



【職員数】

区 分		事 務	医 師	放 射 線 技 師	保 健 師	看 護 師	臨床検査 技 師	運 転 士	合 計
常勤役員	R 4	1							1
	R 3	1							1
職 員	R 4	10		7	4	4	7	2	34
	R 3	10		6	4	3	7	3	33
準 職 員	R 4	3						1	4
	R 3	3		1	1				5
嘱 託	R 4	3	3	1		4		6	17
	R 3	3	3	2		4		5	17
臨 時	R 4	1							1
	R 3	0							0
合 計	R 4	18	3	8	4	8	7	9	57
	R 3	17	3	9	5	7	7	8	56
増減		1	0	△1	△1	1	0	1	1

令和4年度 市町村健康診査受託状況

市町村	検 診 受 託 項 目														
	特定健診	特定保健指導		*1) 推奨	胸部			乳がん		胃がん		子宮頸がん	大腸がん	骨粗鬆症	尿細胞診
		積極的支援	動機付支援		単独検診			マンモ	エコー	血液	X線				
					結核	二重	喀痰								
大分市	●	○	○		●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	
別府市											○	○			
中津市	△				△	△		△	△	△	△	○	△		
佐伯市					○	○	○	○			○	○	○		
臼杵市												○			
津久見市	○			○				△	△	○	○	○	○	○	○
竹田市	○	○	○		○	○	○			◎	○	○		○	○
豊後高田市											○	○			
杵築市	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
宇佐市	△			○				○		△	○	○	△		
豊後大野市	○	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○
国東市	○	○	○	○						○	○	○	○		○
由布市	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
日出町	○	○	○	○						○	○	○	○		○
姫島村					○	○					○	○			
九重町	○			○				○	○	○	○	○	○	○	○
玖珠町	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
合 計	12	7	8	7	7	7	5	10	8	10	16	17	12	7	9

記号説明：◎は「新規受託」 ○は「継続受託」 ●は「施設(クリニック)実施のみ」 △は「一部受託」

*1) 胸部検診の「推奨」における受託項目は、結核検診、二重読影、喀痰検査(ハイリスク者)です。

令和4年度検診受診者数の内訳

1 市町村住民検診

(単位：人)

検診項目	4年度(A)	3年度(B)	増減(A)-(B)
特定健康診査	15,229	14,816	413
結核検診	18,269	18,113	156
骨粗鬆症検診	2,118	2,363	△ 245
胃がん検診	8,578	8,594	△ 16
子宮頸がん検診	13,199	13,270	△ 71
肺がん検診	18,541	18,418	123
乳がん検診	9,157	9,710	△ 553
大腸がん検診	14,643	14,768	△ 125
合 計	99,734	100,052	△ 318

(増減理由) ①特定健康診査 2市受診者数増
 ②結核検診 1市受診者数増
 ③骨粗鬆症検診 1市他機関移行
 ④胃がん検診 特変なし
 ⑤子宮頸がん検診 稼働日数減
 ⑥肺がん検診 1市(一部受託による増)
 ⑦乳がん検診 1市他機関移行
 ⑧大腸がん検診 1市他機関移行

2 職域検診

(単位：人)

検診項目	4年度(A)	3年度(B)	増減(A)-(B)
生活習慣病健診	14,926	14,913	13
結核検診	34,467	39,592	△ 5,125
骨粗鬆症検診	432	614	△ 182
胃がん検診	2,229	2,307	△ 78
子宮頸がん検診	2,507	2,375	132
肺がん検診	538	494	44
乳がん検診	2,664	2,586	78
大腸がん検診	2,878	2,733	145
合 計	60,641	65,614	△ 4,973

(増減理由) ①生活習慣病健診 特変なし
 ②結核検診 1施設受託減
 ③骨粗鬆症検診 協会健保検診受診者数減
 ④胃がん検診 稼働日数減
 ⑤子宮頸がん検診 1施設受診者数増
 ⑥肺がん検診 特変なし
 ⑦乳がん検診 2施設受診者数増
 ⑧大腸がん検診 新規受託事業所受診増

特定保健指導の支援形態

1 動機付支援(6か月)

4年度：108人(3年度：121人)

回数	時期	支援形態
1	初回面接	個別面接
2	3か月後	手紙で情報提供
3	6か月後	電話
		終了評価

2 積極的支援(6か月)

4年度：58人(3年度：44人)

回数	時期	支援形態
1	初回面接	個別面接
2	2週間後	電話
3	1か月後	手紙A 積極的関与・指導
4	2か月後	手紙B 励まし
5	3か月後	個別面接・血液検査
6	4か月後	手紙B 励まし
7	6か月後	個別面接
		終了評価